夕刊 磐城新聞
二月二十三日發行
(日曜祭日翌日休刊)
東京振替一〇六〇五八五番

天氣豫報 小名濱測候所發表
今晩は北の風晴一時曇
明日は北東の風曇

戰時下藝術家の覺悟 (一)

島田忠夫

非常時下に、あらゆる職業戰線に異變があるが、わけても藝術家は、最も困難な生活をしなければならない。

□藝術と一口に云ふても、中には色々さま〲な種類と階級がある。例へば、美術家は一ばん困難だと云ふか、千圓、二千圓の高級な繪書に飛ぶやうに賣れてゐる。

□文士は困ると云ふが、林芙美子のやうな心臓の強い女性は戰地まで押しかけてゆき、今では原稿が飛ぶやうに賣れてゐる。

□さうかと思ふと、林芙美子の何人目か前のご亭主だつた野村君といふ童話作家などは、昔、林ふみ子が書いた童話を種に。どこかで出版しやうとして歩いてゐるが引受けない、生活によく〱困つて、この頃は住居も轉々として流浪してゐる先ごろも相談にやつて來た。

□人生は妙なものだ。金があるからと云つて、昔の女房に金借りにも行けまい。戰爭ものを書く作家は比較的みな恵まれてゐるが、さうでない連中はみな困つてゐる。

□詩人も同じ事だらう。今まで詩を作り、ブラ〱やつてゐた連中、今さら職工と世間で云はれる西條八十センセイあたりでも同じことだらう。生活には困らぬが、戰爭前のやうに、何々小唄、××行進曲でもあるまひが、一頭のやうな莫大な收入はあるまい。コロンビヤの專屬作詞家の月給や、何千圓といふレコード印税に比べて、それこそ比へものになるまい。

□時局は 正に非常戰時下第三年目だ。そこでいゝのだ。之れが當り前なのだ。

□詩の依頼原稿は減つたが短歌の方に反對に増加してゐやう。戰地の軍人がみな勇壯な戰鬪下に、歌を作つてゐる時代だ。これこそ國ぶりだ、歌の盛んになるのは當然である。

□『中央公論』『改造』『新潮』『文藝春秋』『日本評論』『セルパン』『キング』『むらさき』等等。みな短歌を載せない雜誌はない。歌人はある一定の一流の顔ぶれだが引つぱり凧のやうである。殊に時局歌のことについては齋藤茂吉、松村英一、土屋文明氏あたりが、一ばん書かされてゐるやうである。

□戰爭に強い國である大日本は、また言魂の幸はふ國でもある

2月24日
△旅順港第一回閉塞戰(明治三七)
△支那張群外交部長辭任し王寵惠新任に決定(昭和一二)

[illegible]

○

軟球の女試合や春の庭　揖斐郎

小名濱卽事 (其の一)

珠雲 小野務平

颶風捲海大濤繁
龜怒鯨狂易悸魂
避難女濱猶遇難
百舟摧破一無存

習作

鈴木光二

○後からあとからトロツコが走つてくる、おゝカ強い建設の地響きだ (埋立工事)
○母の寢息だけ――誰もゐないやうなしんとした靜けさ、白梅の花がつゝましい
○春だ!畔道の向ふに、推肥がかげらふのやうな息をはいてゐる

落陽

逢月笙子

落陽の赫さは
燃える胸の炎
征くます。
宵[illegible]の時[illegible]
〱天地の歡喜
あゝ
開け行く日の本の意氣
そのことを
をみなも
落陽と共に

朝

金子竹水

空の彼方へ
旦暮の翅を ひろげやう
すだく[illegible]が戀しくて
家をそつと出て見ら
赤く熟れた柿までが
風の寒さにふるへてた

時の流れ

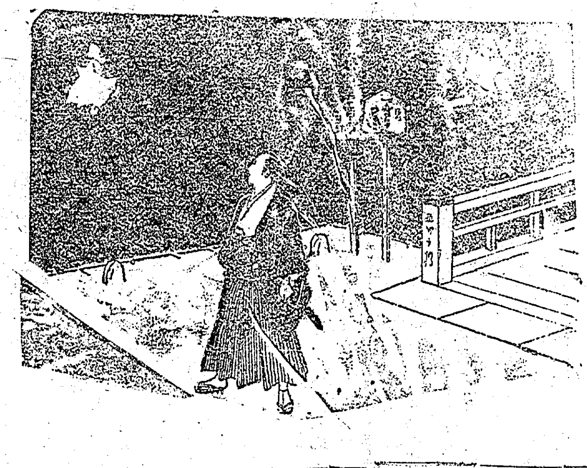
嶽品美沙子

夕ぐれの丘に
靜かな黄昏が訪れる
碧い湖にも
小さな木樹の一つにも
逝く年はやさしかつた
サラ〱と落葉のこと
追憶を辿りて
音もなき時の流れ
るゝ
かへり來ぬ歳よ
限りなき哀愁を抱く

講談 恩讐無道 (35)

久我荘多郎 作　香川三十代 畫

―天の巻― 流れ雲 (五)



話の間に、いつか部屋の隅々に靄のやうな夕闇が迫つて來た。

依田は立上つて、服のポケツトから小さな箱を出して、妻やうじとも見ゆる木を抜いた。それから卓子の上のランプを引寄せる。

惣介が見てゐると、依田はその小さな木の先で、箱の側面をこすつた。途端、ぱツと火が點じられた。

『やツそれは?』と、ランプに火を移しながら、依田は振向い―

『これか』

その箱を示す。

『これは、マツチといふのです。今までわたしたちは、火打石以外に火を得ることを知らなかつたが、異國には、こんな便利な品が出來てゐるのです』

『うウむ』

惣介は、自分もそゝる〱ためしてみて、その不思議さに、呻き聲を擧げた。まるで魔法としか思へない。

ワドソン氏は、何事にも目を見はつて感嘆を惜しまない惣介の、卒直さを好ましく思つたか、

『フカミさん。いつしよに食事をしながら、もつといろ〱なお話をいたしませう。初夏の夜は長いいくらでも話が出來ます』

『は。しかし……』

惣介は、瞬間ためらつた。心の中では、新時代のこの智識を得ようといふ慾求に燃えさかつてゐたが、始めて訪ねて來た家で、それまでの世話になつてよいか? 惣すけは、それをためらふのである。

『遠慮には及びません―ケンザさん』

ワドソン氏は、依田を見た。

『すぐに、みんなの食事を命じて下さい。あなたも、ミスターもいつしよに……』

依田は此家で、賢三郎の上二字をとつて、ケンザと呼ばれてゐる。

そのケンザの去る後姿を見ながら、惣介は、もう一度ためらはずにゐられなかつた。ワドソン氏の親切は快く受ける考へでもその食事といふのが、異國風の料理でないかと案じるのだ。異國のものは、さつきの珈琲で懲てゐる、あれでは折角の好意も無にすることになるのではないか?

しかし、それは、惣介の懸念にすぎなかつた。ワドソン氏の好意はさうしたものにも現はれてゐて惣介だけには、江戸でもあまり食へないと思へるやうな立派な日本料理が用意されたのである。

赤い酒が出た。ちよつぴり飲んでみて惣介は、そのうまさに、思はず數杯を傾けて、ワドソン氏やメリー嬢を微笑させた。

食事が終ると、こんどは窓のある部屋へ案内された。大體、當時の横濱異人館のうち一番館から二十番館まで、海に面して建られてゐた。だから惣介の案内された部屋の窓からは、こゝろよい潮風がしのんで來るし、浪の音も聞けば、海ものぞめたのである。

惣介は、こゝで想像もしなかつた美觀に直面した。それは、この横濱の海に浮んだ幾十隻かの異國船の美しい夜のすがたである。日が暮てまだ間もないからどの船もどの船も、灯りをつけてゐる。それが水に反射して浪に碎ける美くしさ―まつたく、これまでにかうした有様を、夢にも見たことがない。

しばらくは、窓際に立つて、呆然と見とれてゐた。

依田が近寄つて來た。

『深見君』

『いろ〱な世界があるでせう。かういつては失禮だが、御門君のやうに、いつまでも亡びるものの後を追つてゐては、この美しさは見られない』

さうだ。まつた〱その通りである。

惣すけは、こゝまで來てよかつたと思つた。

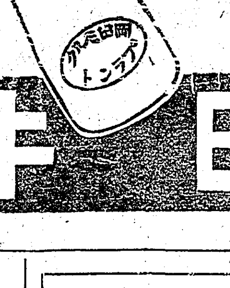
中等學校
(高) 國防色外套……大特賣
高嶋屋の洋服
男女學生服 新入荷
注文並ニ既製品
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

吸入用酸素 純度99%
度量衡
モノサシ マス ハカリ
計量器
体温器 寒暖計
秤ノ取扱・修繕致シマス。
關内藥局
電話四〇番

御祈禱執行 舊正月十日
國威宣揚 皇軍戰勝並に出征軍人の武運長久
泉驛より南西八町
鹿島神社々務所
社掌 熊澤昇平

夜間診療
胃腸性病
内科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科
專門
松村胃腸性病科醫院
(平市南町 電一〇七番)
(見習看護婦募集)

第一線の慰問品ニハ
見不知羊羹と潮の華
平市五丁目
泉屋菓子店
電話六六八



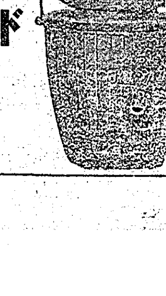
低温殺菌
岡田牛乳
平市鎌田町
電話五一
斷然―賣行よし
信用と品質と共に備つて

晝夜診療
外科一般 内臓外科
レントゲン科 泌尿器科
北川外科
血液檢査每日
◎入院隨時
平市新川町(電四六四)
醫學博士 北川芳夫

吉田眼科醫院
醫學士 吉田久雄
平市紺屋町 電話六八番

和洋銅物金物問屋
平市五丁目
(久) 釜屋商店

實用新案 第一八七四三〇號
意匠登錄 第六六一一六七號
石山式
石綿ムシカマド
こんな經濟的な『かまど』は他にありません
安價な燃料で濟み、保温力が強く堅牢で火の元絶對安全!、御使用に御便利な! 石綿製のムシカマド、近代生活のお台所に是非、おすゝめ致したい新製品で御座います。



實株は買ツテ御手元へ
必ズ儲カル優良株
投資指針
●支那事變公債四萬圓マデ買マス
平市四丁目三十三
富岡株式店
電話二五八

皮膚科 泌尿器科 性病科 專門
診療時間 午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町
江尻醫院
電話六九一
醫學博士 江尻伊三郎
入院隨意

鑑定項目
名前のみで一代の運命……何んでもわかる……
体力 (肉体 疾病) (健康、不健康、相貌)(病根病勢、病名)に關する一切
活動 (職業 天運) (適業、不適業)(天運、成功、不成功、災厄)に關する一切
血緣 (家族運 男女緣) (父母の緣、夫婦の緣、子供の緣)有無(氣質、相性、相剋、婚期方位に關する一切
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名
日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌
平市紺屋町 三六

平市と小名濱町に防空建築規則適用

來る四月一日から實施

警防團の組織、初代團長の人選など近來頻りに其の方面の話題を賑はしてゐる今日更に戰時下を機會に將來の防空に備へて新に實施されることになつた內務省令防空建築規則にともなひ本縣では市街地建築物適用地である縣下四市及び小名濱町に對し之亦四月一日から縣令を以て同規則を適用せしめることになつた、これは今後新設する建築物に對し防空施設を完備せしめるものでその內容は左の如くである

制限

一、各建築物間の距離は二米以上にすること、それ以下の場合は鐵鋼、モンタルを使用し厚さ二ミリ以上とすること

一、鐵筋コンクリート建築は屋上一尺三寸以上の厚さにし外壁、軒、庇、出格子等は準耐火構造にすること

一、木造長屋は一軒百五十平方米を超ゐる毎に準耐火設備をなすこと

一、石油タンク三千キロリツトル以上を貯藏するものはタンクを地下設備にすること

一、左の各號に該當する建築物は準防護室又は相當の空地を設置すること

イ、公共團体用建築物 ロ、學校、病院 ハ、停車場 ニ、汽船發着所 ホ、卸市場 ヘ、五十人以上を使用する工場 ト、劇場、映畵館

結局四十四萬圓台

市豫算廿八日內示

市の新豫算は昨夜青沼市長伊藤助役、酒井主事ら鳩首最後の檢討によつてその歲入不足は土地資排代等で補塡することにしてお膳立が整つたので來月二日午前十時から市會招集、翌三日は豫算檢討のため休會、四日再會するが例の通り委員附託となつて五、六の兩日檢討本會議は七日午後一時になるらしい、當局では今月二十八日午前十時からこれを內示する

新豫算總額は歷報の如く小學校學級增加や物價膨貴による諸經費の自然膨脹で縣の指示する四十萬圓台を超え結局四十四萬圓台に上るものと豫測されるが諸稅課率は十三年度を踏襲すると

內鄉豫算村會

全國有數の『大村』として知られてゐる內鄉村では二十三日午前十時から村會を開き新豫算を中心に諸件附議

釘不足、平商建築に惱み

平商業學校は歷報の如く來月十二日の卒業式までに新校舍の建築を了るべく目下鋭意工事を進めてゐるが竣功を前にして材料の不足を來してゐるので二十二日市から縣當局に洋釘二十二樽、亞鉛板三百十二枚の配給方を申請

該當者は是非出席せよ

ます國民登錄指示

平職業紹介所では明二十四日午前九時から市會議事堂に市內關係者を集め國民登錄の促進を指示する。旣に登錄を了した職工、板金工自動車業者のうちこれに漏れたもの及びこれ以外の現業者で滿十六才以上滿五十歲以下の男子、一年以上指定職業に從事し退職後滿五ケ年を經過せざるものは申告の義務があるので是非出席せられたいと

ます。

磐女音樂會

明後廿五日開催

縣立磐女春の行事、音樂會は來る二十五日午後一時から同校講堂に於て催さるゝが番組次の如く恒例の盛況を豫想されてゐる

ピアノ聯彈ソナタ二長調 獨唱初日の出 二部合唱舞ひ狂ふ雪 三部合唱ペチカ ピアノ獨奏ソナタト長調 二部合唱春の風 獨唱脊い小鳥 ピアノ聯彈獵人の歌 二部合唱母 獨唱早春賦 ピアノ獨奏圓舞曲 ピアノ聯彈タランテラ舞曲 二部合唱那須與一 三部合唱乃木將軍の歌 三部合唱うつくしき ピアノ聯彈メヌエツト舞曲 二重唱埠頭の別れ 二部合唱天使 ピアノ獨奏ドナウ河の漣 獨唱 人はいざ、四葉のクローバー 三部合唱三つの舟

所長さんも日露の勇士

傷痍軍人の身上相談所 愈よきのふから店開き

武勳輝く傷痍軍人の道案內役、その身上相談平支所は市役所社會課內に事務所を置き愈よきのふ二十二日から店開きした

當局の温い親心から出發した此の相談所は福島市に支部が置かれて常に連絡を保ち、平支所は平並に石城、雙葉の一市二郡下を區域として

一、傷痍軍人身上萬般の相談

一、國、公共團体其他軍人援護團体等の施設に關する手續き斡旋

一、巡回に依る傷痍軍人の實情調査

に就き一手に戰傷勇士身上の相談を受け持つわけ、初代支所長は勳七等に輝く日露の戰傷勇士小名濱町小野々直さん(六二)で『その身上に最も理解ある人』を資格條件として選ばれた適任者

み國のために傷いた勳功に酬ゆる意味でいろ〳〵お相談に應ずるのが私々の任務です

齡耳順に達しながら軍隊生活で鍛えただけになか〳〵の元氣

氏は明治三十七年歩兵伍長で從軍、各地に轉戰武勳をたて同年三月二日奉天附近の大會戰で敵彈により左頸部外一ケ所に貫通銃創を受けた人である

乙女に惠まれた職場

平局で電話事務員募集

小鳩のやうな瞳を輝かせて女學校に進まんとするものの外、今春小學校を巣立つ乙女の中には女性にうつてつけの職場として局の電話事務員を志すのが少くない現在約八百の加入者を有し日夜目まぐるしい交換事務に携はる事務員は主事(判任)二名、監督九名、事務員五十三名合計六十餘名の多數に上つてゐるが、年齒上結婚その他の異動があるため常に缺員を生じ勝ちで殊に時局柄事務の輻湊から急速に之を補充する必要あり、昨今小學校の卒業時期を前に控へ平局では今回右見習員二十四名の募集を開始した

資格は高等小學卒業以上にして滿十九歲未滿のもの、市內及び之に準ずる地域居住者に限る、自筆の履歷書に在學成績證明書添付局へ差出すこと、締切今月末日、試驗來月上旬、見習養成開始四月九日

床し、乙女の純情

市內長橋町五〇篠塚榮子さん(一七)は平郵便局の給仕をしながら目の不自由な祖母しげさん(七五)を養つてゐる感心な娘さん、恩師の渡邊小學校訓導平田武氏が勇躍第一線に立つや眞心こめた慰問袋等によつて先生を激勵、その苦しい家庭の事情を知る平田訓導はこれに感激陣中から金十圓を送つて來たが榮子さんは『こんなもつたいないお金は全部使へない』とその半額五圓を市軍事後援會へ、殘る半額を貯金したと

愈よ警防團結成へ

けふ市で準備協議會

四月結成の警防團組織內容は昨二十二日平署から指示されたので市では直に今二十三日午後一時から市會議事堂に防護分團長以上、消防幹部、在鄉軍人關係者を招き結成の前提となるべき事項につき種々審議を重ねた

悲しいリシーヴ

馬目市議と豆もやし（下）

柏木哲

私は今朝極めてセンシブルな畏友として過去何年來交際つて來た故人を、より深刻に偲ばうとする感傷から例の通り洋盃で冷や酒を味ひ乍ら、アルバムを次ぎから次ぎと繰つて見た。

×

其れには、故人があらゆる遊びに飽きた揚句、藝者に布團の四隅を持たせて寢蓆を運ばせたり、吸ひ込みで酒を呑んで見たりしたと云ふ病人ごつこのデカタン場長こそ無けれ、笠間稻荷社頭、南湖公園、鬼怒川溫泉、波崎渡頭など幾多の愉快な憶ひ出が順序も無く貼られてあつて殊に白岩官林の茸狩りには王克敏の樣な黑眼鏡を掛けて篠山校長の隣りに納まつて居るなど、その何れもが活力に滿ちて居るのである。

×

相手の咽喉笛に食ひ下つてこんりんざい放さないあのブルドツクの樣な滿幅の鬪志、一度攻勢に出るや鋭鋒勁烈敵手をして迎接の暇なからしむる一面、機智縱橫巧に敵の打ち込む太刀先を受け流す圓轉さと『義を見てせざるは』底のあの情熱。政治的に最も祝福され乍ら來ん春を待たで東岱の雲遙かに旅立つたのである。

×

昭和十四年二月十六日の午後、平商の上棟式に出向く直前自分に吳れた電話のあの聲は未だに自分の耳底にこびり附いて居る。年々歲々花相同じ。近く春回つて木華梢を飾るとも逝つた人は永劫に還らない。未だ入にならぬ五男一女を殘して逝つた事が今や動かすべからざる現實なるを奈何せんである。

×

私の家の前栽はいま如月末の陽ざしを受けて微かな膨らみを見せた黑い土には日ならずして青草の萠ゐ出づべき春の氣配を匂はせてゐる。去年の秋そこから剪つた草花の鮮新を心私かに誇り乍ら畏友の爲に安齋醫院の病室に運んだ自分は、今年の盆には之をその奧津城に手向けねばならなくなつた事が悲しくてならぬ。

×

歲々年々人同じからず。紅霞簇る松ケ岡公園あたり同じ人と花見る事の出來ぬ今年の春は自分にとつて此上なく寂しい。

あの時の豆もやしこそ何と悲しい最後の賜はり物であつたらう。一瓣の香を獻じ泣いてこの一文を草す

陣中を聽く

(343)

今や長期戰に入り銃後の强化を祈る

材木町出身 長谷川佐武郞君（通信）

謹啓 聖戰下第二回の新春を長江の邊りに迎へ、故國皆々樣方の御健康を祝福致します事を此上なく光榮と致し

嚴寒の候にも拘らず、各位には益々銃後の誇りに何かと御奮鬪の有樣拜承致し邦家の爲め誠に慶びに堪へません。

銃後皆樣方には同事變勃發と共に各種團体長と協力致し銃後の完璧を期し尙は戰線に活動する吾々兵士へ各宛夙に御配慮賜はり今度もまた熱誠溢るる御赤誠の結晶たる結構な慰問袋を御贈與遊ばされ御送附に預かり誠に有難く深謝致すと共に正に頂戴仕りました、厚く御禮申上ます。陳者私事帝國軍人の一員として事變勃發と共に出動、北支に中支に轉戰致し候事一年六ケ月一意御奉公に專念致しましたが、此間銃後皆樣方よりお寄せられたる御厚志は戰地と云はず留守宅に迄何時も感激致して居ります、〳〵そして今日あるは偏に皆樣の御後援御鞭撻の賜と深く肝に銘じて居ります。

今や事變も御案內の通り新段階に入り長期建設に向つて只管邁進致して居ります、必ずや銃後各位の御期待に副ひ聖戰の目的達成に努力致す考でありますから此の點は何卒御安心下さい 當地も日一日と寒氣も去るやうに思はれます。幸ひ健康を以て日夜軍務に精勵して居りますから何卒御安心下さい。

內地も本年は殊の外寒さ嚴しいとの事、一層御自愛專一の程をお祈り致して居ります。尙ほ機會がありましたら銃後各位にも宜しく御傳聲賜はらん事を勝手乍ら御願ひ致します。先は御禮旁〻近況まで早々

鹿島生活改善

舊正行事決る

鹿島村では生活改善のため從來十六日迄の舊正行事を七日迄とし、八日未明〆飾りを撤去、午前五時サイレン合圖に西小屋で淨秩、酉小屋は一部落一ケ所として佛事は八日より行つても差支へないことにした

村當局では『銃後を固く冗費を省け』『省く費用を愛國貯金』の兩スローガンを織り込んだチラシを撒布、趣旨の徹底に努めてゐる

西潟君遺骨凱旋

前線で戰病死した市內六間門出身一等兵西潟知術君の遺骨は二十五日原隊に無言の凱旋をするので實父德次郞氏は今二十三日出發した

庭先で頓死

二十二日午前十時頃市內鎌田町下川原鈴木龜松さん方の庭先で卒到、そのまゝ絕命したので平署で檢視の結果右は岐阜縣郡上郡北濃村剃刀研師長谷川萬六(四九)が前夜同村木賃宿にとまつたもので死因は心臟病と判明

坑夫絕命

好間村日曹小田坑坑夫菅野正八(三七)は二十一日午前十時頃坑內で炭車と衝突重傷間もなく死亡

寄附

市內堂の前渡邊ヒデさんは從軍看護婦として晴の門出に際し金十圓を市軍事後援會へ寄附

市內紺屋町細谷賢君は第一校在學中金十圓を拾得、滿期となつて平署から受けたその半額五圓を市軍事後援會へ寄附

平市慶弔錄

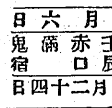
△出生 材木町鈴木義德氏三男啓八君

○死亡 本籍櫻町水戸市備前町鈴木さくさん(五八)

○婚姻 東京市荒川區日暮里町來住南信吉氏(三二)鍛治町吉田きくさん(三二)

二十四日（小名濱測候所發表）

滿潮 前五、四五 後六、三五 干潮 前後 一二、二〇 一、三五



新二月二十四日 金曜 舊正月六日 壬辰 赤口 鬼宿

▲一白 物事思ふ程ならされども福祿相當に備る日▲二黑 進出せんより退守が安全又病厄盜難に注意▲三碧 せむるに勝なし守るに如かず又虛榮を戒む▲四綠 萬策盡きて窮乏す稍態のゐぢに努むべき日▲五黃 業務上の心づかひより身體の健康を喋るが吉▲六白 家道大にあがる日なれど短兵急に爲るは惡し▲七赤 諸事良好に進展す起業開店普請等至極宜し▲八白 家業に出精すれば異狀を呈する事なく安全▲九紫 希望は大なれど實力之に伴はざる日金談凶

玉屋眼鏡店

故障の起らぬ
原口のラヂオ
擧つて國防…揃つてラヂオ
ラヂオは是非──
專門店……へ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目（警察署通り）
電話（呼出）166

（新工場始業ニ付）從業員募集
一、指物大工 經驗アル方 三十名
一、指物、挺物見習工 三十名
一、女工 三十名
一、女事務員 二名
高等女學校卒業の方（特ニペン字ト珠算ノ上手ナル方）
御希望ノ方ハ平市職業紹介所又ハ當工場ニ申込マレタシ
定給ノ外歩合及賞與ノ特典アリ
佐藤木工所
平市十五町目二六番地

◆內科、小兒科 院長 前田淸美
◆外科（內臟外科、花柳病科）
◆產婦人科 副院長 幸恒足
◆耳鼻咽喉科 副院長 兒玉秀純
X光線科
（手術室入院室完備）
前田醫院
植田町本町 電話一二四番

耳鼻科咽喉科專門
平市南町一六番地
大和田醫院
電一七〇番
（入院隨意 病室完備）

職工募集
家具指物 職工 數名（初任日給壹圓五十錢ヨリ）
見習職工 數名（初給月拾五圓ヨリ）
家具、指物 飛行機木馬 神棚佛壇 建築材加工
橋本屋木工場
平市新川町 電一六三番